

JUASスクエア2021オンライン

変化を味方に

～デジタル中心へ マインドチェンジ!!～

2021年7月14日(水)・15日(木)

2日間オンライン開催

主催 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会(JUAS)

特別講演協賛

株式会社NTTデータ
デロイト トーマツ グループ

NTT DATA
Trusted Global Innovator

Deloitte.
デロイトトーマツ

ペアセッション協賛

株式会社アイ・アイ・エム
サイボウズ株式会社
株式会社ソフトロード
日本リミニストリート株式会社
バルテス株式会社
株式会社Box Japan

IIM

cybozu

SoftRoad

Rimini Street

VALTES
FOR QUALITY CONFIDENCE

box

応援協賛

IIMヒューマン・ソリューション株式会社
サイバーリーズン・ジャパン株式会社

IHS

cybereason

特別協力

ガートナージャパン株式会社

(五十音順)

JUASスクエア2021オンライン

変化を味方に ～デジタル中心へ マインドチェンジ!!～

ニューノーマルという言葉が当たり前となったこの時代。新たな社会の在り方が求められています。デジタルを当たり前のものとして、社会やビジネスを改めてデザインすることで、誰もがデジタルの恩恵を受けることができる、そんな社会の幕開けです。企業やIT部門、そして私たち自身が、技術・組織・場所・時間—あらゆる壁を越えてつながり、人の思考や行動の制約を取り払い、デジタル中心の考えに変化していきましょう。今までの価値観にとられる必要はありません。変化が当たり前の今だからこそ、マインドチェンジが可能なのです。

JUASスクエア2021オンラインでは、デジタル中心の時代にあって、企業やIT部門がどう変わっていくべきか、さまざまな取り組みやメッセージをプログラムに織り込みました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お申し込み方法

- 参加費用 ●一般 19,800円(税込)
●会員 9,900円(税込)

下記ホームページよりお申込みいただけます。

<https://juas.or.jp/sq2021online/>

ご質問・お問い合わせは下記へご連絡ください。

JUASスクエア事務局

TEL:03-3249-4101

E-mail:square@juas.or.jp

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-4-3
日本橋堀留町2丁目ビル8階

●日時	2021年7月14日(水) 13:00～、15日(木) 10:30～
●開催方法	オンライン(Zoom)
●主催	一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会(JUAS)
●後援	特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会(ITCA)
●ホームページ	https://juas.or.jp/sq2021online/

プログラム

※詳細はWebをご覧ください。また、時間・内容につきましては変更になる場合がございます。あらかじめご了承下さい。
最新の情報はWebをご覧ください。 <https://juas.or.jp/sq2021online/>

Day1 7月14日(水)

13:00～13:10

A1-0

開会あいさつ



清水 博
JUASスクエア2021オンライン
プロデュース委員会 チーフプロデューサー

13:10～14:00

基調対談

K1-1

今こそ実現する 社会全体のデジタルトランスフォーメーション

突然訪れた社会環境の劇的な変化に適応するため、従来の価値観にとらわれない新たな挑戦が始まっています。中でもデジタル庁の創設や、デジタル社会形成基本法の制定などの動きは、デジタル社会の実現に向けた、社会全体のデジタルトランスフォーメーションと言っても良いでしょう。その中心的な役割を果たしている村井教授をお迎えして、日本が目指す社会の在り方や取り組みなどについて、JUAS会長・大林と共に考えていきます。



村井 純 氏
慶應義塾大学 教授
内閣官房参与



大林 剛郎
一般社団法人
日本情報システム・ユーザー協会 会長



●モデレーター
三宅 晃
一般社団法人
日本情報システム・ユーザー協会 専務理事

14:20～15:00

特別講演

K1-2

顧客価値リ・インベンション戦略と実践 ～デジタルサクセスを実現するために～

デジタルはこれまでとは異なる新たな経済原理を創り出すため、今までの事業の延長線ではデジタルビジネスを成功に導くことはできません。既存事業を持つ大企業がデジタルの経済原理を活用して顧客提供価値を変革するアプローチと、デジタルビジネスを成功させるために求められる組織マネジメントや、デジタル人材をどう育成していくか、そのあり方と実践すべきことを、デジタル先進企業の事例や自身の取り組みを交えてご説明します。



山口 重樹 氏
株式会社NTTデータ
代表取締役副社長執行役員

15:20～16:20

フォーラムセッション

A1-3

変化を味方に IT部門がチェンジマネジメントの中心へ

変化に対応したものが生き残るという「適者生存」の時代に、企業やIT部門はこれからどう変わっていく必要があるのでしょうか。デジタルトランスフォーメーションの言葉に踊らされるのではなく、今こそIT部門がデジタルテクノロジーを武器にチェンジマネジメントの舵を取り、企業の変革を推進しましょう！ 本セッションでは、JUAS「IT部門経営フォーラム」メンバーへのライブアンケートをベースに、皆様と一緒に、今後どうやってこの時代を変革し続けるかを探ります。



●チーフファシリテーター
中川 義明 氏
日本製鉄株式会社
情報システム部部长
兼 デジタル改革推進部部长代理

●ファシリテーター
笠川 弘二 氏
東京電力パワーグリッド株式会社
技術・業務革新推進室 副室長

阪間 勇一 氏
ライオン株式会社
統合システム部長

中野 啓太 氏
日清食品ホールディングス株式会社
情報企画部 次長

16:40～17:10

ペアセッション

A1-4

ユニチカが語る！モダナイゼーションからのDX基盤の構築とシステムの進化

～AIでシステム構築革命～

ユニチカではリフォームによるモダナイゼーションを実現し、RPA導入、機能間疎結合化を推進。さらにクラウド上のDX基盤との連携によるマイクロサービス化も進めています。本セッションではモダナイゼーション後のシステムの進化、DXへの取り組みをご紹介します。また、後半は日本最大のシステム更新専門会社のAI更新「システムリフォーム」を紹介します。構造改善、疎結合化、業務の見える化、RPA導入等を高品質・低コストに実現するコツをご説明します。



近藤 寿和 氏
ユニチカ株式会社
情報システム部 部長



大橋 順二 氏
株式会社ソフトロード
取締役

ペアセッション

B1-4

IoT×AIによるスマート保安への道のり

～あらゆる壁を越えデジタル化するための秘訣～

IoT×AIの適応が進む中で、IIMもAI予兆検知サービス「LUIiNa」を2019年にリリース、応用範囲も広くITやIoTの商用環境で利用されています。その中で東北電気保安協会とIoT×LUIiNaの取り組みが始まり、経産省プロジェクト「産業保安高度化推進事業」の参画へ繋がりが、新たな電気保安の在り方の一つとして注目されるに至りました。実業務とAIを繋ぐ工夫、小さな成功の積み上げ、StepUp、様々な壁の乗り越え方を対談形式で紐解きます。



坂本 邦夫 氏
一般財団法人
東北電気保安協会
常務理事



佐藤 直之 氏
一般財団法人
東北電気保安協会
総合技術センター
技術開発グループ 課長



住友 邦男 氏
株式会社アイ・アイ・エム
常務執行役員 (CTO)
LUIiNa本部長



熊本 真子 氏
株式会社アイ・アイ・エム
LUIiNa本部 部長

17:30～18:00

事例セッション

A1-5

トラスコ中山らしさ溢れるDXで 明るく元気な社風とヒトを醸成していく

トラスコ中山は「がんばれ!!日本のモノづくり」を企業メッセージに掲げ、いつの時代も、トラスコ中山らしさ溢れるDXで、明るく・元気な社風と社員を醸成し、一人一人が社会的価値を生む企業づくりを目指しています。当社の経営資源とデジタルをうまく組み合わせ、顧客視点のサービスで、業界最高の利便性を身につけ、日本のモノづくり現場のお役に立つ企業になりたいと考えています。今回の講演では、そのDXの一端をご紹介します。



数見 篤 氏
トラスコ中山株式会社
取締役 経営管理本部長
兼 デジタル戦略本部長

事例セッション

B1-5

DXを推進する組織の合意形成について ～ AIを活用し、新しい顧客体験創出へ

大手メガネブランド「Zoff」を運営するインターメスティックは、メガネには単なる視力矯正器具以外の可能性があると捉え、デジタルデータを活用した新しい価値創出に取り組んでいます。このAIを活用したDXを推進する過程では、ベンダー選びやリソースではなく、組織の「合意形成」が一番の課題解決となりました。本セッションでは、あらゆる枠を超えたメンバーが集い、積極的にチャレンジする中、どのように経営、組織、現場と合意形成を行い、プロジェクトを推進しているかをお話します。



逆井 浩之 氏
株式会社
インターメスティック (Zoff)
事業基盤本部 本部長
Zoff Eye Performance
Studio責任者

18:20～19:10

スポットライトセッション

A1-6

デジタルを使い「多様な幸せが共存できる世界」を目指す ～社会システムデザイナーと語りあおう～

課題大国日本において、デジタルが日本を救う救世主になるかもしれません。そんなデジタルの力を信じ、電子お薬手帳を立ち上げ、その後もコロナワクチン接種支援、医療MaaSなど様々な事業に関わってきた石島様をゲストにお迎えし、社会課題の解決に向けた熱い想いを語っていただきます。本セッションでは、石島様が目指す「多様な幸せが共存できる世界」について、デジタルで何ができるのか、ご参加の皆様と一緒に考えていきましょう。



石島 知 氏
シミックヘルスケア・
インスティテュート株式会社
執行役員 harmo company 責任者
慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科卒



●モデレーター
斉藤 学 氏
JUAS 組織内起業家研究会
部長
スカイライトコンサルティング
株式会社 シニアマネジャー

Day2 7月15日(木)

10:30～11:10

特別講演

K2-1

DXという流行り言葉と現場の乖離 ～実際苦勞するのはIT部門、どう対応していくべきか～

DX、コロナ禍でのテレワーク推進、2025年の崖対応等、IT部門に対して社内外を問わずプレッシャーがかけられています。しかし、現実とはそんなに簡単な話ではなく、苦勞されている現場の方も多いのではないのでしょうか。本講演では日本企業の現実やIT部門がどこに着目していくべきなのかについて、ざっくばらんに語ってみたいと思います。



安井 望 氏
テロイト トーマツ グループ
Chief Information Officer
兼 Chief Technology Officer-パートナー



渥美 文孝 氏
テロイト トーマツ コンサルティング合同会社
Emerging Solutions & Incubations
パートナー



中川 貴雄 氏
テロイト トーマツ コンサルティング合同会社
Technology Strategy & Transformation
アソシエイトディレクター

11:30～12:30

フォーラムセッション

A2-2

チャレンジ・ザ・チェンジ ～挑戦する情報子会社のIT人材育成戦略

「ニューノーマル」時代において生活者の行動変容はめざましく、企業は変革のチャンスと捉え、デジタルトランスフォーメーション (DX) による新たな価値提供を加速させることが求められています。これまでの「品質・コスト・納期」の最大化を目標としてきたIT人材育成戦略は深化させながら、DXに対応するIT人材育成戦略を進化させる必要がでてきました。人材における「チェンジ」は実現できるのか。挑戦していく各社の取り組み事例とあわせて、皆様と考えていきます。



富岡 英俊 氏
AJS株式会社
執行役員 ERPソリューション事業部長
兼 ICTイノベーション事業部副事業部長



富田 昌幸 氏
MS&ADシステムズ株式会社
損害サービスシステム本部 副本部長
兼 コーポレート本部 人事部 人材開発グループ
上級マネージャー



野田 憲二 氏
第一生命情報システム株式会社
常務執行役員 デジタル推進部長
兼 Studio Xedge General Manager

13:00～13:30

事例セッション

A2-3

Agile@Aflac

～アジャイル型の働き方の全社展開～

当社は、変化の激しい時代に柔軟かつスピーディーにお客様へ価値を提供していくために、アジャイルを新しい働き方として取り入れ、全社へ展開しています。アジャイルはあらゆる業務において、仕事の進め方における選択肢を広げるものであり、決してシステム開発だけの話ではありません。市場の変化や多様化するお客様のニーズを迅速に捉えながら、顧客体験価値の向上や、商品・サービスの提供スピードの向上に役立つアジャイル型の働き方をご紹介します。



田中 満実 氏
アフラック生命保険株式会社
アジャイル推進室 室長

事例セッション

B2-3

SGホールディングスグループにおけるIT・デジタル戦略

～ユーザー部門とIT部門による一体改革～

佐川急便を中核としたSGホールディングスグループでは、2012年にホストコンピューターをオープン系システムに刷新。その際、IT人材のスキル移転を積極的に進め、開発、保守・運用を内製化するなど、「2025年の崖」は既に脱却しています。その上で現在は、AIやロボティクスといった最新テクノロジーを活用し、ユーザー部門とIT部門が一体となり業務改革を推進しています。本セッションでは、経営戦略とIT・デジタル戦略を一体的に進めてきた歩みと今後の展望についてお話いたします。



谷口 友彦 氏
SGシステム株式会社
代表取締役社長

13:50～14:20

ペアセッション

A2-4

アサヒグループのDX基盤における “コンテンツレイク”の役割とは？

データドリブン経営を支え、DXを加速する。IT基盤のアジリティが求められる昨今、データレイクやデータ連携の疎結合化が重視されますが、多くの企業で見落とされがちなのは、非構造化情報（コンテンツ）の存在です。アサヒグループでは「コンテンツレイク」という概念を取り入れ、IT基盤のあるべき姿を再定義しました。本セッションでは、そのロードマップである「アサヒモダナイズアーキテクチャ」の全容をご紹介します。



清水 博 氏
アサヒグループホールディングス株式会社
日本統括本部 システム統括部
マネージャー



浅見 顕祐 氏
株式会社Box Japan
アライアンス・事業開発部
エンバジェリスト

ペアセッション

B2-4

楽天市場のQA体制

～変化に対応する質×量×スピードを実現するためには？

コロナ禍でECの需要が急速に拡大しており、「サービス品質」の重要性も増えています。同時に、ユーザーに「より多く」の価値を生む「スピード」も意識していかなければなりません。絶えず変化する時代に対応するための「品質の担保」と「より多くの価値を生むスピード」を実現するためにはどうすればよいのか？ QA（品質保証）の考え方は？ 楽天市場の事例を元に、QAにおけるマインドチェンジのヒントをお伝えします。



世良田 敏義 氏
楽天グループ株式会社
ECマーケットプレイス開発部
QAマネジメント課
マーケットプレイスQAグループ
マネージャー



●モデレーター
石原 一宏 氏
バルテス株式会社
テスト・アライアンス事業部
事業部長 兼 上席研究員



佐伯 昌哉 氏
バルテス株式会社
Webシステム品質サービス事業部
アカウント品質サービス部
マネージャー

14:40～15:10

スクエアセッション

A2-5

そのIT投資額、妥当ですか？ JUAS・IT投資ポートフォリオ研究会が策定した 価格指標のご紹介

ITが経営に必要不可欠となり、ビジネスの根幹を支えるものとなっていますが、ITの価格設定を疑問に思ったり、高いと感じることはありませんか？ IT投資には価格水準がなく、投資額の妥当性評価が難しいものです。IT投資ポートフォリオ研究会では、不動産の「坪単価」のように、IT規模に応じた価格指標づくり（FP単価）を行ってきました。本セッションでは、研究会で検討した価格指標をご紹介します。導入したITの価格が他社の水準と比較して高いのか？低いのか？ヒントとなれば幸いです。



村井 祐樹 氏
JUAS IT投資ポートフォリオ研究会 部会長
東邦ガス株式会社
情報システム部 セキュリティグループ 課長

スクエアセッション

B2-5

AI研究会の3年間の成果から考える、 今後のAIの可能性や方向性について

JUAS AI研究会では、ビジネスや、技術、組織などの観点からAIについて2018年度から3年間研究してきました。その間に外部環境も変化し、研究会でのAIに関する知見も蓄積され研究内容も進展しました。例えば、AIの適用が容易になり、参加者のAI知識が深まったことによって、学習から実践への流れが生まれました。3年間の変遷から今後のAIの可能性や方向性を、研究会の成果をもとに、ご紹介いたします。



佐々木 盛朗 氏
JUAS AI研究会 部会長
株式会社アバント
社長室/AIストラテジー リードマネジメント

●JUAS AI研究会 副部会長

古崎 知昭 氏
ブレインズコンサルティング株式会社
取締役

近正 和也 氏
TDCソフト株式会社
デジタルテクノロジー本部
未来技術推進室 シニアITアーキテクト

喜多 陵 氏
日揮ホールディングス株式会社
グループ基盤DX部
データ分析基盤課
データサイエンティスト

岩佐 幸紀 氏
三井E&Sシステム技術株式会社
営業本部 営業企画部
新規事業推進室 室長

清嶋 淑也 氏
アクセンチュア株式会社
インタラクティブ本部 マネージャー

15:30～16:00

ペアセッション

A2-6

あなたの情熱を空回りさせず、 組織のDXを上手に進める秘訣とは

デジタルトランスフォーメーション（DX）の重要性が叫ばれる中、推進に成功して全社的な意識改革が実現できている企業は僅かという調査もあります。情熱を抱えてDX推進にあたらうとするも、経営層の理解が得られない、現場への展開に苦戦する、そんなお悩みを抱えるDX担当者も多い事でしょう。空回りしないDX推進に向けて、大手製造業であるジヤトコの取り組みを通じて、現場主体で業務改善を行うための作戦をお伝えします。



岩男 智明 氏
ジヤトコ株式会社
デジタルイノベーション推進部・主担



小林 悠 氏
サイボウズ株式会社
ビジネスマーケティング本部

ペアセッション

B2-6

東京エネシスのICT改革の歩み

—成功する経営資源の再投資：IT部門に求められる改革の実現にむけて—

新型コロナウイルスによりIT部門を取り巻く環境は急速に変化し、DXの取り組みが加速する中で、IT部門に求められる改革の必要性が高くなってきました。本セッションでは、リミニストリーのユーザーでもある東京エネシスが、現行の安定したSAPアプリケーションの価値を維持しながら、IT部門の効率化と改革をどのように進めているのか、パネルディスカッション形式でお話いたします。



栗原 幸宏 氏
株式会社東京エネシス
執行役員
経営企画本部 ICT推進部長



脇阪 順雄 氏
日本リミニストリート株式会社
代表取締役社長

16:20～17:40

総括講演

K2-7

ニュータイプの時代 ～新時代を生き抜くための思考と行動様式～

モノが過剰になり、正解がコモディティ化している現代では、これまでの昭和の「論理とサイエンス」の価値はなくなり、「美意識とアート」が求められています。ベストセラーとなった『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか？ 経営における「アート」と「サイエンス』、『ニュータイプの時代 新時代を生き抜く24の思考・行動様式』でもお伝えしてきた、これから活躍できる新しい人材＝「ニュータイプ」とはどのような人材なのかをお話します。



山口 周 氏
独立研究者、著作家、パブリックスピーカー